

山行報告書

報告書作成

2005年5月15日

山名 [山域]	大日ヶ岳[奥美濃]	目的と方法	山スキー山頂往復
登山期間	4月10日(日)	山行形態	日帰り
参加人数	4人		

行動記録

4/10(日) 旧岡崎市民病院跡(5:00)==岡崎IC(5:05)==豊田東IC==美濃関JCT(5:50)==高鷲IC(6:30)==高鷲スノーパークPKG(7:15,8:00)+ゴンドラ上(8:20,8:30)--大日ヶ岳1709m(9:20,10:00)--ゴンドラ上(10:20,10:25)--ゴンドラ下(11:00,11:10)--高鷲スノーパークPKG(11:20,11:50)==湯ノ平温泉(12:10,13:10)==高鷲IC(13:30)==美濃関JCT==土岐JCT==豊田東==岡崎IC(16:00)==旧岡崎市民病院跡(16:05)

概念図



日誌

4/10(日) 天気は晴れのち雨、岡崎を5時に出発、今はまだ晴れている。今日の山スキーは比較的楽な山行のためか、気持ちガルンルンで会話がはずむ。高鷲スノーパークのゴンドラは8時始動だ、早く着いてもしょうがないのでコンビニにてゆっくり休み朝食を取る。スキー場の駐車場は広く無料、真ん中にエスティマをとめ、準備していると隣のボーダーの若者が「どちらまでバックカントリーするんですか」と我々のスタイルを見て聞いてきた「ゴンドラ終点から1時間ほどの大日ヶ岳に行くんです」と教えてあげました。7:50くらいにゴンドラ乗り場に並ぶ(片道1250円)、この10分間に日が翳り、風が強くなって来た。ゴンドラを降り、板にシールを付け、シールを利かせて斜登高でゆっくり登る、風が益々強くなる、ガスも出て来た。50分で大日ヶ岳1709mに到着してしまった、雪のテーブルで早過ぎる昼食を取る。3月に作った雪洞を探しに行くが、作った2人が「ここだ!」と言う場所には、雪洞の跡形も無かった。新しいゾンデ棒で埋没者探しの訓練をする、地面と樹木の感触の違いは判った、今回はだれかを埋めて人の感触を知りたい。山頂の積雪はゾンデの長さ260cmちょうどであった。岐阜の山の会の6人パーティーがつぼ足で上がってきた、女性リーダーがしっかりしているし、ユーモアもある。ガスが濃くなって来た、視界20m、4人を見失わない様に注意し、スピードを控えて滑降するが25分でゴンドラ終点に着いた、ここからはゲレンデを楽しく滑り、11時前にレストハウスに着いて終了、早く帰ろう、湯ノ平温泉に入浴、東海環状道路のSA巡りをしながらゆっくり帰った。

感想

24年前に大日ヶ岳を山スキーで登った、そのときはダイナランドスキー場のリフト最上部からシール登高で1時間30分くらいだったと思う、高鷲スノーパークがオープンして大日ヶ岳が更に近くなった、今後、日帰りの雪上訓練、テレマークスキー練習、足を伸ばして天狗山へと、気楽にここを使って活きたい。